

(様式3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	株式会社グリーンソウル	
取組	(2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保	
構成員数	29人 (うち女性の人数: 5人)	(令和3年5月時点)

1 事業実施方針

①地域及び女性農業者等の状況

～大規模化と機械化が進む露地野菜の主力産地だが高齢化が進み担い手確保が喫緊の課題、女性農業者は産直活動等で意欲的に活躍中～

株式会社グリーンソウルが所在する十和田市は、にんにくやながいもなどの露地野菜の主力産地であり、平成30年の野菜の農業産出額は約92億円で青森県全体の11%を占めている。大規模化や機械化が進んでいるが、農業就業人口は、65歳以上の割合が60.7%と県平均54.5%よりも高く、年々高齢化傾向にある(2015農林業センサス)。そのため、担い手や農繁期の補助作業者の確保が喫緊の課題となっている。

一方、十和田市の女性農業者は、産直や農家レストラン等の地産地消活動に取り組み所得向上を図る人や、農業委員として家族経営協定を積極的に推進し農家の就業条件改善に努める人など、意欲的に活動しているが多い。令和2年度は11名が、県知事が認定する農村女性リーダー「VIC・ウーマン」として活躍している。また、30～40代の若手女性農業者達は、上北地域県民局地域農林水産部の支援の下、平成27年から「かみきた畑美人」として、仲間づくりをしながら農業への意欲を高め、マルシェの開催等で農業・農村の良さをPRしている。

また、地域女性の状況としては、当社で随時募集しているパート等への問い合わせが年間30件程度あることから、農業現場で働く意欲がある女性は一定数いると思われる。しかし、大半が野菜の出荷作業など屋内作業のみを希望するため、雇用につながらないことが多い。

②株式会社グリーンソウルの概要

～従業員のモチベーションと作業効率の向上を図る「従業員ファースト」の職場環境づくり～

株式会社グリーンソウルは、農産物の生産・販売(ながいも、だいこん、ごぼう、水稲、にんにく)及び農作業を受託する農業法人で、平成24年4月2日の設立以来、地域に根ざした農業を基本とし、事業拡大と雇用創出に力を入れている。

農業は、給与や勤務時間の実態が不透明というイメージがもたれ、敬遠されることが多い。当社では、「従業員ファースト」の経営を心掛け、育児・看護・介護休暇や短時間勤務を含む他産業並みの就業環境の形成とそれを前面に出した求人、人材を確保してきた。また、トイレや休憩所等の従業員の声を反映した施設整備、資格取得や研修参加に対しての助成や業務を通じての育成など、農業未経験者でも安心して働ける職場づくりに力を入れている。現在は、20～70代と幅広い年齢層の従業員29人(うち女性5人)がそれぞれの適性に応じた作業に従事しているが、家庭の事情等で退職した人を含めると、創業以来82人(うち女性27人)が当社で活躍している。

③事業で解決したい事項

～加工部門の新設に伴う女性従業員の雇用に備えた女性用トイレ・更衣室の設置～

現在、作業施設内に男女別トイレを1個ずつ設置しているが、男性従業員の増加に伴い女性用トイレを利用する男性も現れ、女性から苦情が出ている。また、男女のトイレが隣接しているため、利用に抵抗があるとの声もあった。さらに、収益力の向上と通年雇用の安定化に向け、今年度からは加工施設を新設して、カットごぼう等の一次加工品の製造を開始し、令和4年には女性従業員を10人雇用する予定である。そのため、女性が気兼ねなく利用できる専用トイレや更衣室の確保が、当社の重要課題となっている。

④事業実施により想定される効果と産地としての将来の姿

～老若男女誰もが意欲的に安心して働ける職場づくりによる明るく未来の見える農業経営～

当該事業を活用し、女性用トイレと更衣室を整備することで、女性従業員の不満が解消され、モチベーションと作業効率の向上、さらには新規女性従業員の確保につながる。また、当社代表取締役は、県農業経営士や市農業委員等を拝命していることから、各種会合を通じて多くの人に地域農政振興に関する提言ができる機会を得ている。地域の牽引役として当該事業における取組等を、特にキーマンとなる農業経営者に積極的に伝えることで意識改革を図り、女性が働きやすい農作業環境改善を推進する所存である。

農業の主力産地として安全で安心な農産物を安定的に生産・出荷するとともに、老若男女誰もが意欲的に安心して働ける職場づくりで農業のマイナスイメージ払拭し、豊かで魅力ある農業と元気で活力のある農村を次世代に引き継いでいきたい。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

①事業実施体制（令和3年5月現在、各部門の責任者は○印）

総括責任者 <株式会社グリーンソウル代表取締役 >

— 管理部 2人 <○専務取締役、社員1人（女性：管理部次長） >

※令和5年、新規1人（女性）雇用予定

— 営農部 26人 <○常務取締役、社員7人、嘱託2人（うち女性1人）、アルバイト4人、パート4人（うち女性2人）、技能実習生7人、非常勤1人（女性） >

※令和3年、新規2人（男性）雇用予定→令和4年から加工生産部に移動

— 加工生産部 <令和3年新設、責任者は代表取締役が兼任 >

※令和4年6月までに新規10人（女性）雇用予定

※新商品/年間加工量（販売を開始する令和4年度の予定計画）

・カットごぼう（きんぴらごぼう・ごぼうサラダ用）/年間525t

・おでん用冷凍カットだいこん/年間50t

・ながいも個装パック/年間200t

※商品の販路＝業務用需要に対応したBtoB（事業者向けビジネス）

・大手食品加工会社

・大手卸売業者

②事業実施主体の能力（令和3年5月現在）

○経営面積106ha（だいこん50ha、ながいも23ha、ごぼう20ha、にんにく8ha、主食用米5ha）

○経営の特徴

<土づくり> 毎年、全農場の土壌分析とその結果に基づいた施肥による肥沃な土づくり

<担い手づくり> 意欲のある人材には、機械操作、栽培技術、土づくり等のノウハウを教育
学生の職場体験や見学会を積極的に受け入れ

資格取得及び各種研修会への参加支援、農の雇用事業等の活用による安定就業

<スマート農業> 積極的な農業機械の導入とスマート農業（自動操舵トラクタ、ドローン等）の
取組→作業の簡略化と省力化により農業未経験者も従事できる体制づくり

<社会貢献> 幅広い世代や障がい者の雇用、地域イベントへの参加による地域活性化
農業委員会等との連携による耕作放棄地（荒廃農地）約3haの再生

雇用確保と国際協力のため外国人技能実習制度を活用（ベトナム人男性7人）

関係機関・団体からの要請に積極的に対応（講演、視察対応、各種調査協力等）

<魅力ある職場づくり>

育児・介護休暇や短時間勤務など他産業並みの就業環境の形成

作業工程管理表による進捗状況管理（全従業員が大型モニターで毎朝確認）

休憩所や更衣室など従業員の声を反映した施設整備

ユニークな福利厚生（研修旅行、バーベキュー、船釣り、スノーモービル等）

<p><農地集約> 借入農地の丁寧な管理で地域からの信頼を構築→当社から半径 5 km以内に全体の 2/3 の農地集約が可能となり、機械の移動効率が向上</p> <p><地域との共存共栄> J A や市場、近隣加工会社と広くネットワークを構築</p> <p>○地域における役割 (株式会社グリーンソウル代表取締役の役職)</p> <p>青森県農業経営士、青森県農業法人協会理事、十和田市農業委員、J A 十和田おいらせ野菜振興会副会長、J A 十和田おいらせ野菜振興会藤坂支部長、十和田市消防団第 6 分団 3 部部長</p> <p>○受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県農業経営者協会優良農業経営者賞 (平成 30 年度) ・「青森県攻めの農林水産業賞」収益力強化部門大賞 (令和元年度)
--

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第 4 の (1) の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について 5 名以上の農業者 (女性 1 名以上を含む) の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)		
1) 農業従事者 (正社員・パート・アルバイト) の募集 ・ハローワーク、当社ホームページ、新聞折込チラシ、タウン情報誌等に掲載 ・会社説明会の開催	82 人 (うち女性 27 人) 採用 (2012 年度～現在) 年 1 回 (2018 年度～)	コロナ禍により 2020 年は休止
2) 地元高校生や障がい者等の農業体験・研修等の受け入れ	<2020 年の実績> 十和田市立四和中学校 (中 1 だいこん収穫体験、10 人:うち女子 4 人、9 月) 県立三本木農業高校 (高 2 だいこん収穫体験、35 人:うち女子 15 人、9 月) 県立七戸養護学校 (高 1 男子 1 人、だいこん洗浄実習、11 月、5 日間) (中 3 事業所見学、11 人:うち女子 4 人、12 月) 北里大学生 (有志 7 人:うち女性 4 人、9 月、だいこん収穫体験)	新規受け入れ 新規受け入れ 2019 年度から →うち男性 1 人を 2020 年度雇用 2018 年度から
3) 農業でのアルバイト志向者等の技術習得支援 (県農林水産部構造政策課による農作業講習は「青天農場」の設置協力)	<2020 年の実績> 1 回 (男性 1 人、7 月、長芋パイプ差し)	2019 年度から

(今後の取組) 1) 農業従事者（正社員・パート・アルバイト）の募集継続	営農部：男性 2 人 (目標 2021 年) 加工生産部：女性 10 人、 (目標 2022 年) 管理部：女性 1 人 (目標 2023 年)	
2) 地元高校生や障がい者等の農業体験・研修の受け入れ継続	毎年 (目標)	
3) 農業でのアルバイト志向者等の技術習得支援の継続	毎年 (目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1) 農林水産省「農の雇用事業」雇用就農者育成・独立支援タイプを活用した新規就農者の受け入れ	男性 11 人、女性 1 人 (2013～2020 年度累計) →研修後の雇用継続 男性 4 人 (社員登用)	
2) 従業員の声を反映した職場環境整備	農作業着用洗濯機・更衣室 (2014 年度) 炊事場 (2015 年度) 男女別トイレ (2018 年度) 休憩所 2 か所 (2016 年度、2018 年度)	
3) 県の農作業環境改善事例調査等への積極的な協力を通じた女性が働きやすい職場づくりに関する情報発信 ・補助作業着の試着試験、農作業環境改善に係る現地調査と事例収集 (2017～2018 年度)	青森県内の優良事例として女性向け就農啓発冊子に掲載 (2018 年度)	冊子「農業っていいかも～あおり農業女子のススメ～」 (2018 年 3 月、青森県発行)
4) 地域関係機関・団体 (県農林水産部、上北地域県民局、十和田市農林商工部、J A 十和田おいらせ等) との連携による啓蒙活動	<2020 年の実績> 研修会等での事例紹介 年 2 回	
5) 県内外の生産者等の視察の積極的な受け入れと、情報交換を通じた視察者との連携づくり	<2020 年の実績> 視察研修の受け入れ 年 2 回 (県内中核農業者団体、地元若手農業者団体)	例年の受け入れ 5 回だが、2020 年はコロナ禍により減少

(今後の取組) 1)新規就農者の受け入れ継続	毎年(目標)	
2)従業員の声を反映した職場環境整備の継続 →既存のトイレを男性用とし、女性用のトイレ・更衣室を新設	女性用トイレ等の新設 2021年度(目標)	
3)女性が働きやすい職場づくりに関する当社の取組状況についての積極的な情報発信(地域関係機関・団体との連携による事例紹介、当社ホームページへの掲載等)	研修会等での事例紹介 年2回(目標)	
4)県内外の生産者等の視察の積極的な受け入れと、情報交換を通じた視察者との連携づくりの継続	視察研修の受け入れ 年5回(目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1)女性が働きやすい仕組みづくり ・就業規則で、産前産後・子の看護・育児・介護・生理に係る休暇や短時間勤務を設定。 ・附属規定として「育児、介護休業等に関する規則」、「母性の健康管理の措置に関する規程」、「ハラスメント防止規定」を制定。	就業規則等の制定 (2012年～)	
2)女性社員の管理職登用	女性社員1人中1人 →管理部次長(2020年～)	
(今後の取組) ・上記活動の継続		
1)新事業(カットごぼう等の一次加工品の製造・供給)の開始による雇用創出と女性視点を生かした商品開発	加工事業に携わる女性従業員10人採用 (目標 2022年6月まで)	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

- (1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動・・・該当なし
 (2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年5月	<p>新事業（カットごぼう等の一次加工品の製造・供給）の開始による雇用創出と女性が気兼ねなく利用できる施設整備</p> <p>1) 女性専用設備（トイレ・更衣室）の新設 <対象者：施設利用者> 15人 ①管理部次長 ②嘱託社員/営農部門 ③パート/営農部門 ④パート/営農部門 ⑤非常勤/営農部門 ⑥～⑯ 加工生産部の女性従業員10人（※） （2022年6月までに雇用予定）</p> <p><方法> ①施設整備に向けた補助金の申請 「農業労働力確保緊急支援事業（女性の活躍推進対策）」を活用</p>	<p>※前述の「事業実施方針」に記載したとおり、屋内作業希望者は多いため、女性従業員10人の雇用は可能と推定。</p> <p>当該補助事業</p>
2021年9月～ 2022年2月末	<p>②女性用トイレ等を新設 プレハブ内に女性用トイレ3、女性用更衣室を完備</p> <p>2) 加工生産部門の立ち上げと女性の視点を生かした商品開発 <対象> 株式会社グリーンソウルが所在する十和田市近郊住民（加工生産部門の従業員10人募集）</p>	<p>加工生産部門の詳細は、前述「2女性農業者活躍に向けた実施体制」のとおり。</p>
2021年9月～ 2022年2月末	<p><方法> ①野菜加工施設及び加工製造ラインの新設 ・野菜加工施設（野菜洗浄施設、第1工場、第2工場）～自己資金 ・加工機械設備～「青森県産野菜等供給力強化対策事業」（加工機械の導入に係る施設整備支援事業）を活用</p>	

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の（2）の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	10人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 人、雇用就農者 10人、アルバイト・ボランティア等 人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事的女性とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。